

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 028	提案機関名 JA全農神奈川県本部
要望問題名	新品種導入に向けたアボガドの栽培試験について
要望問題の内容	【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 温州みかんやウメを核としたカンキツの生産が主である県西地域では、温州ミカンの価格低迷など、農家所得への影響が課題となっている。 こうしたなか、有望品種導入による農家所得向上対策として、湘南ゴールドや湘南潮彩レモンの生産振興に取り組んでいる。引き続き、これらの生産振興をはかるとともに、更なる新品種導入を見据え、アボガドの栽培実証試験による生産技術の確立を依頼したい。
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 新作物・優良品種選定試験		
対応の内容等	2017年度からアボガドの中で耐寒性の強い品種を中心に、生育調査を実施しています。現状では、‘ウィンターメキシカン’、‘エッティンガー’、‘メキシコーラ’が、他の品種と比べ、結実も見られ、安定した生育が確認されています。引き続き、上記試験研究課題の中で実施します。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			